



進まぬ審議 首相いら立ち

新テロ対策特別措置法
案の実質審議が始まった
四日の参院外交防衛委員
会で、これまで低姿勢を
貫いてきた福田首相が語
気を強める場面が目立
ち、十五日までの国会会
期内に法案採決の見通し
が立たない「いら立ち」
をにじませた。

う繰り返し求めると、首
相はこう突っぱねた。
さらに白氏が「首相は
(参院外交防衛委で)審
議入りしていないのに、
会期内に採決しろと(指
示した)。おかしい」と
迫ると、首相は「お言葉
ではございますけれど
も」と前置きして「ここ
まで反対するのは、大事

しばしば語気強める

「いちいちお話ししな
ければいかんのですか。
そついうことは、分かっ
てくれなきゃ困る。政治
家としてね」

な法案ということだから
あると思うが、ぜひ毎日
でも審議いただきたい」
と、皮肉たっぷりに切り
返した。

先の日米首脳会談につ
いて、民主党の白真勲氏
が内容を明らかにするよ

首相は近く、会期再延
長や衆院での再議決に関
して最終決断を迫られる

給油実績の資料を手に質問する
民主党の白真勲氏。左から福
田首相、町村官房長官、石破防
衛相、高村外相。4日、国会で

が、挑発的ともいえる言
動には、法案処理をめぐ
る重圧が背景にあるとみ
られる。